

情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2024年 6月 21日作成

■研究課題名	通糸済30G針とプロリン糸フランジを用いた縫着用水晶体嚢拡張リング固定手技の有効性、安全性を検討する多機関共同観察研究
■研究の対象	白内障と診断された患者さんで、通糸済30G 針とプロリン糸フランジを用いた縫着用水晶体嚢拡張リング固定手技を受けた患者さんを対象とします。
■研究目的・方法	【目的】 チン小帯脆弱・断裂症例における白内障手術は難度が高く、こういった症例に対し縫着用水晶体嚢拡張リング(以下縫着用CTR)を用いた手術が行われていますが、手技が煩雑な為あまり普及していません。本研究の結果から煩雑、高侵襲な縫着用CTR手技が簡便化、低侵襲化されることによりチン氏帯脆弱例、断裂例の患者にも積極的に当手技を用いることが可能となり、結果的に難症例の白内障患者に対して長期的に安定した術後成績をもたらすことが予想されます。 【方法】 診療録から情報を収集して、当術式の有効性について検討します。 通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
■研究期間	倫理委員会承認日から 2028年 3月 31日
■研究に用いる 試料・情報の種類	【情報】 診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報:年齢、性別、既往歴 ・手術情報:術式、合併症等 ・検査結果 ・転帰
■試料・情報の 取得と保管方法	本研究では、「研究組織」に記載されている各機関で上記の情報を収集します。情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号(識別コード)で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表(以下、対応表)を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は各機関で管理し、外部へ持ち出すことはありません。上記の通り研究に関わる機関の間で情報の授受が発生しますが、研究対象の方が受診された病院以外の機関が個人を特定することはできません。情報は、研究代表機関で少なくとも5年間保管しますが、個人を特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供される可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。また共同研究機関に共有された情報も、上記と同様の期間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
■外部への 試料・情報の提供	「共同研究機関」で収集された上記の情報は、研究代表機関である横浜市立大学附属病院眼科へ提供します。集積された情報の解析結果については、「共同研究機関」と共有します。情報は、各機関でUSB等の記録メディアにパスワードをかけた状態で保存し、研究代表機関へ追跡可能な方法で郵送します。また、集積された情報の解析結果を共同研究機関と共有する際も同様の方法で提供します。
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。	
お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 眼科 (研究責任者) 倉持 雄一 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545	